



へ 13  
2814

旧添  
2132  
88



傾城買談花街雀



○宵の虚言

行春乃山又つゝ花を又まらうらんが

ふれをまゝと戦路まゝをまゝと東子くろみ

名跡うま トウのぬい推本をよそと割合ハす  
これど文約をよそと思ふなり

下女モ一且那えんへ只今銀蝶えんがのくの

しやのりしや外まぢりかすらてのるや

言次郎 十二銀蝶うきことろるるや



言 コレサ 祝也いと  
 出して 知ととアといくらんはけられ  
 移へらちを和くおかけよふ おしも御ホラシ  
 くく 止るの聲 且ねおうごいぬーなせんうへ  
 おやとくめつとまーふ ぬ入の是をやよさ  
 フイ駕 フイくくく 文ど名よあふ日本橋  
 酒よ折減高しとて夕や辰たおむと東  
 よ入海濱くこして白鳥の舞らそーとく  
 ども空をうらむらぬぐやより遠ふんは

三拾文の格乃齒をむくよことありん  
 市仲此青ハ板其のうくよあどり 妙定の  
 卵のむらびハあられ古是よ諸つぶされ  
 腹のさきうつさふだらちハ屋といえせの  
 づぬあげよあうつる鼻をまてとこむ  
 二人が是のまやさるや二十四時のむさや  
 のぬー おしも御よりむくをうらぬ西尺わどめ刀とさー  
 下に誇ちうらんとをさやよま八丈のぬいざいま  
 りちらんゆささけまよまこーかー長ーまよ二日馬けら

きて目をかり せうとよおはわう代 穂着の眼みハ千里も  
 ありん遠まうらの 勤番乃お人も又へうり 御らまは  
 二人と見付 知らぬ 言 フ、イ、く、六、さ、ん、ド、や、ア、福、へ、  
 ありよてりあるを 六 せうく 逆あやせたとありりさにしたいふ  
 おふとうともあささありた 蝶 をめくたせ  
 そんなに 行きあひ 今 終うら ぬめくの所  
 へ七夜 態 世へ 二夜 あさご 梅 八月 来り  
 じゃア 福へ ぐ 思の 裏が 反く せまら けさ ーくも  
 かんく び ぎく であー かり 福へ 大 きい よ ーい

こま 弓に 日ハ 暮ら ちア 北国へ ありん ちま ちま  
 清り 里よ ちア ちま あり 下 ちま ちま ちま ちま 六  
 すん ちま ちま ちま ちま ちま ちま ちま ちま  
 下 ちま ちま 蝶 ちま ちま ちま ちま ちま ちま ちま  
 ちま ちま ちま ちま ちま ちま ちま ちま 言 モウ ちま ちま ちま  
 ちま ちま ちま ちま ちま ちま ちま ちま ちま ちま  
 の ちま ちま ちま ちま ちま ちま ちま ちま ちま ちま  
 ちま ちま 六 ちま ちま ちま ちま ちま ちま ちま



大よのさふりおららのさうなりのいそん  
 あんららーまづをさふ事いーあきてらる  
 言ことばそれまてまづつ六あんと  
 てもえあさくふりく幕まゐはさうこれ子  
 のも久男わたの役たと思おもふ。さのこころ  
 一色孫ひののさトは、よまうせてりわどとやを分を戦  
てさうと塔より地回よりさるるを  
 馬よりつりわどとや田がとさるるをさす下れ  
 さちといさくと面白さと一色あれどといさくといさくと  
よま  
六おめきさちやアちつと愛小侍いとていと

えんお考ち流つ之谷やまでりりて来るくらら言ことば  
 ちあとしと六六着物まののさふさ  
さ六六おおささににおお待まちどど六六おおままののおおまま  
 こころこ六六おおんんよよみみんんななれれよよろろくくとと云いや  
 一一ささりりけけどどももここししけけどどろろいいささつつななりりららつつ  
 一一ややりりまませせぬぬとと云いててつつつつけけををししてておおいいらられれ  
 ありあををええてて舞まああららままをを咄はししたららせせ  
 こやこノノ面白おもしろいい一一色いろくくどどとと笑わらてていいささくくまま







きやア兄へ福(ふく)ものをちんをたりしよつあど。  
 てたごせト笑ひまはれて又天人(てんじん)のあまわりた  
一ツ門をくさき  
 のふとく新造(しんぞう)礼(れい)をみごさび。あどかく  
 かいらんあれバあこまをかく。ゆき新(しん)あま  
 んよあまあはまよあまごさひのづらう。接じやく  
 子(こ)よ客(きやく)をさくうじう亮(りやう)あまバあまあひのりまこ  
 まぐさまひく新造(しんぞう)もらう。よりとら。兄  
 どののあうー先にまぐまみて蝶六(む)さん

くあの新造(しんぞう)はトコルんヤんなう。はト  
 くをえらやあなまごのう六あせご蝶べ  
 らああにまがあうまご六あも  
 しろくも物(もの)をんまをやアえ神(かみ)のけふ  
 へぬいあげあまあま入(い)あくあをさしと  
 とまのうまらちらのあうあ角(かく)もあ柳(やなぎ)ま  
 のくさああまのがまごゆ蝶らま蝶  
 いやのあまさんまアあれともそらつと

お嬢ーヤトよりく集うらわらー先のをん  
此も女節もどくつとん又  
をとあつて個のようすハ大んせま  
とあつたお達よらまを扱くとん  
トのまんとあつてそつらこ  
も力をぬいてふえとらんを  
著者 モトだんおあこー  
を [六] ヤーここれサさじらのまこものこの  
テこまをカウあつりこまよらまひカウ  
ト大んせまをこる著者  
こもをばおまおーづる [七] ナニ 大あつたあれを  
なよもらんーませんのが ばざいまらん  
ししてほらアさいますー お火おはららー

うアさいまー。あつらにわさまんところら  
 ございほすうら [五] うーあつたあつた  
 ハコあーのりのハアとあつたあつた  
 りりりけとままらうさつたあつた  
 ーつりアとあつたあつた [六] よらー  
 ございます。おあつたあつた  
 おあつたあつた  
トおつたをえんとてまあとよ  
アと二人何らまを笑ひまら  
らとあつたあつたあつたあつた  
くくるあつたあつたあつたあつた  
著者 [八] ばらあつたあつた

よふいらつーかひまーし（中） （中） （中）

伊八とんちよとまなトあがくそとら又を

そくさん （中） （中） （中）

まさんけるぬーはおせーやいーと中

まうちまてらろまーいーたふいつを

こまがめくあるせんトこすハ花弁の

（中） （中） （中） （中） （中） （中） （中） （中）

まのこもよふお出あへーと嫌さんけるありのを

ごうあ介たト笑ひ（中） （中） （中）

まふらへ入て（中） （中） （中）

（中） （中） （中） （中） （中）

おいでなんーと（中） （中） （中）

文男がする鼻巾たうら（中） （中） （中）

（中） （中） （中） （中） （中）

ト（中） （中） （中） （中） （中）

（中）

モシ 六右衛門さんこれは持あまさましたから  
 をいかりながらさーあげまへげ言さんちよ  
 つとおとうつぎ城城イこいやくいもサ  
 さいせんくらすこすごーしてうらるるから  
 様 すんからさーほめ言さんのおあひけい  
一やたいこ持へうり。ちよーの格りの。一がまよ。まごつくお  
 段をん飛泳むる走ハ形達の年つとらよ。さりををつぶー。すう  
 後よ。知つとらよ。さけひるまのめりやをみいとかり。お  
 まで情をまさるねるく。なまも。おちんとおひ。席やへ  
 出様 モシ いきーおさんちよつとト云を着者がい  
 ーとおひ

様 シヤゴもまだと思いんーきらぬーやアをん  
 でおまへ。まつちよの国々おんちんすのく様何  
 るごんやアおへ。大ありさ。おあわり大根の切  
 ぼーとらつとてさくごーらつと。かたち  
 ござ時ときは今をんのお人ハト口をさ。是た  
 くら。ごふぞおねみごよ。あアやアま  
 トなよんごら。ごふぞはらアさへ録へ  
 とうふーて。らんたよんそーしてまららのト





ら。なまようぢうーくおふぢりぢら。あうーん  
と昔お徳子をおけて [六] マヤまのぢお  
やすくあんせんくおいらんで。おつせんす  
おまのぢくさんすぢ。やくがおこつらんー  
てかうくぢりをおきて。おいらさーきまひよ  
まいつらんじら。ぬーによく中せおん  
ーてそーて。あすぢで <sup>お</sup> 寝ておつぢあんす  
ト <sup>お</sup> つかさどらつてせつらん  
おんぬまさと [六] ウーウッ、そごロこらう

ト <sup>お</sup> つかさどらつてせつらん  
おんぬまさと [六] ウーウッ、そごロこらう  
たていつくおまなくおぢくはおぢうませりのまてらら  
がどもを寔とおひおぢくはありあらーちらぢら  
くさーおとあひんども又ありーくおらう床のゆ  
あしーらんの新。とありおぢお二人のせー声  
をたぢのゆ <sup>お</sup> 今うのいまーであんよもおをたぢーやい  
せんが。おーぎおぢあんて。おまらうぢら  
なりのでも <sup>お</sup> 婦とおもつておらんあんーて  
何うらあに <sup>お</sup> また。およおぢらけて。と <sup>お</sup> 活とー  
ておらんあんに <sup>お</sup> ぢらうーく死んでおまれ

[六] 所



いん。あつがごめをひぬーのよしなあんド  
つなりのを妹いもうとといぬいあんよめりいこのう  
おんが。まらつらぐーやまをぬまらちのよめお  
めんがいをおん帯おんこめりてい〜おらんあんん  
ぬーいぬーあはせよめおいあんーようぐおん何なに  
もふさ世よであさらめておらんをんーおん  
ぬーハ今いま夜よふうい〜あせそんはよふが  
そいふおんぬあんすそ〜して〜うまをふ

いあんすと云いたもんーととつおん町まちを事ことで  
おん今いままでいお〜〜やい〜とあれどを。  
是こゝろおどよまご。まらちのめをわめりてお  
くんたあんすぬーぬ〜おそふーやいす。よふ  
くまいておらんたんー。まらちもえおんうら  
〜ふいや〜ひかでもあつらんせんあれど  
も。おつと〜たるめらをまとの春はる信しん川がわへ  
くられん〜て。ほいおんけど〜のま耐たうら

思ひそめしづめめいんぐと。二世とやくそく  
し一人のまき年の著せし。親をちがや  
うはくめんごふをうけめんしと。やうらう  
しまがらんせんめんごふごまらちか  
おめはぐとけ。みつぎやてあめん志  
よよめはらいつとめいさなうめめ。ぬーた  
つらうの樂一みと。まじしはへのわあいまで  
おくらてあめんし。まじしはへのわあいまで  
風

思ひそめしづめめいんぐと。二世とやくそく  
し一人のまき年の著せし。親をちがや  
うはくめんごふをうけめんしと。やうらう  
しまがらんせんめんごふごまらちか  
おめはぐとけ。みつぎやてあめん志  
よよめはらいつとめいさなうめめ。ぬーた  
つらうの樂一みと。まじしはへのわあいまで  
おくらてあめんし。まじしはへのわあいまで  
風

ではようにならきぐ中なるうためを忍ぶ  
るよき真ようかしくあえんしてまうら  
しいがうらくと。うらうらして勤いのや。  
ほうむいさんのまーをいしてあえんあえんす  
のさめんとうでくままつてむうりか  
アといーとが旦那さんのまあんにあめも  
そうまづらつちやアもふもなうら孫うちら  
とれをまーたのちなせもあへんぞんこく

おの者どちうらて。気がちいさいくら。あせ  
大きくあがづのさ。そいしてとこまうらつと  
出るまにあんなまさとなくまあんにあ  
こつちも着やあつてもおて。あんのんさん  
つらんがでよしいまらぬいの病ひが  
なまをんあんして。又まをるの叶やあふ  
うとまあへめくアんしたまは旦那さん  
のむいあえんすよ。おめもさけハ新さんう





ておらんあんなすぬーきち由<sup>ヨ</sup>若も使<sup>ヒ</sup>つてお  
まづて。おらんもんまももあつらんーやうさ。  
うちあけておまおーやあんす。まらうらうら<sup>うら</sup>  
もう一里<sup>リ</sup>むらう。はあまておらんすあのおん士<sup>シ</sup>  
のむせ<sup>セ</sup>で。あつらんーごうらうらとアノ言<sup>ゲン</sup>  
さんの<sup>ン</sup>ふらうけのあつらん<sup>ン</sup>の<sup>ノ</sup>を<sup>ヲ</sup>知<sup>チ</sup>あがら  
うらうらをむせむせ<sup>ム</sup>らうら<sup>ラ</sup>あうと<sup>ト</sup>ふあま  
すのを<sup>ヲ</sup>おとつらん<sup>ン</sup>が<sup>ガ</sup>火<sup>ヒ</sup>に<sup>ニ</sup>後<sup>ノ</sup>を<sup>ヲ</sup>た<sup>チ</sup>あん

て。とまらうにむせであんーた。まらうあつ  
ま<sup>マ</sup>誰<sup>レ</sup>も知<sup>チ</sup>ら<sup>ズ</sup>ば。やみく<sup>ク</sup>と<sup>ト</sup>むせ<sup>セ</sup>ら<sup>ラ</sup>あ<sup>ア</sup>死<sup>シ</sup>  
あんーた。ま<sup>マ</sup>附<sup>ツ</sup>ら<sup>ラ</sup>あ<sup>ア</sup>ん<sup>ン</sup>ーあ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>あ<sup>ア</sup>い  
んーて。ま<sup>マ</sup>あ<sup>ア</sup>死<sup>シ</sup>の<sup>ノ</sup>う<sup>ウ</sup>に<sup>ニ</sup>あ<sup>ア</sup>く<sup>ク</sup>と<sup>ト</sup>むせ<sup>セ</sup>ら<sup>ラ</sup>あ<sup>ア</sup>  
て。ま<sup>マ</sup>あ<sup>ア</sup>ん<sup>ン</sup>ーご<sup>ゴ</sup>う<sup>ウ</sup>ら<sup>ラ</sup>う<sup>ウ</sup>け<sup>ケ</sup>ら<sup>ラ</sup>あ<sup>ア</sup>ん<sup>ン</sup>ーた  
ら。ま<sup>マ</sup>あ<sup>ア</sup>ん<sup>ン</sup>ーご<sup>ゴ</sup>う<sup>ウ</sup>ら<sup>ラ</sup>う<sup>ウ</sup>け<sup>ケ</sup>ら<sup>ラ</sup>あ<sup>ア</sup>ん<sup>ン</sup>ーご<sup>ゴ</sup>  
あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>い<sup>イ</sup>ん<sup>ン</sup>ーて。あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>あ<sup>ア</sup>い<sup>イ</sup>の<sup>ノ</sup>う<sup>ウ</sup>ら<sup>ラ</sup>あ<sup>ア</sup>ん<sup>ン</sup>ーご<sup>ゴ</sup>  
て。ま<sup>マ</sup>あ<sup>ア</sup>ん<sup>ン</sup>ーご<sup>ゴ</sup>う<sup>ウ</sup>ら<sup>ラ</sup>あ<sup>ア</sup>い<sup>イ</sup>の<sup>ノ</sup>う<sup>ウ</sup>ら<sup>ラ</sup>あ<sup>ア</sup>ん<sup>ン</sup>ーご<sup>ゴ</sup>

ほけの言さんよお月よ。あつらんた月は  
らまーとあふーと。あつらんたまアをあふん  
ーと。あひんーたがういさうあふん  
よぬーと。あふんーと。あふんーと。あふん  
るあつらんまへがあつらんをぬぬ  
もアもあふん。あふん。あふん。あふん。あふん  
てア。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん  
[参] そのゆいでおす。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん

もあつらん。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん  
ーと。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん  
るのあつらん。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん  
そしてア。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん  
あつらん。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん  
月あつらん。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん  
あつらん。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん  
あつらん。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん。あつらん

よお後そうごえして。もうらが福ふくのけはとめ。おや  
のいりまめ妹のためといおいどもえのおこい  
みぢよいらいゆいといひんするやアまれ  
ぬさ先さづあひいらをの碇 碇をいあるわど。お  
めいさんごの。おいおいちんすのをまん  
して。ほいくいんするやアまらちやど  
ぢらの。あつたりの。あいんせんまぢいぐ  
せいとめをいんするも。今いまよりいくといひ

あいついんするやアまめいさんごいも。おい  
づうくつく。はあされいせん あらうおいあ  
あいちいんするいぬいららあけ  
ておませをいん一 碇 碇をいあいんす  
トいんげは罪もいちらやら。やんにいらら  
おいちいんせう。ぬいちらの孝やい  
いんららてからいのいたらをいくあい  
しら。今いまもいんするやアまよくこいあいららいま



ておアハ—とがふ—ぶでねト又たをそふ—  
[夢] おにもけかうで。おく—ちあんすことち  
あつんせんはくまぶをかしてあやせお  
ん—**晴**おつ—かんちう。おておらんあ  
—ちのちのおとらさんには高きを—て  
おつであんすおハ川 晴はあつん—をが。  
—ちちちてうぞナ四のさき。お川へさあん—  
て茶屋をわ—ちあん—てう—ニ夕月をう

アおアんはうち。を所へ二指をうらふよ来て  
いあんす松さんと云々の白ひ目をかごら  
のり男であつん—とがやつとしてん安  
くわ—い—て。まごぬ—のんも知さぬ  
後汗のあうへぬけて集つん—して。そこよ  
まううこ十日をかりからひらうち。年のいぬ  
らうら又**因**が息しくおア—来ておつて  
あんす。おか昔の瓦をまをぬ—て。うら—く





ふらら。今うちを切る美所のふに持て  
なむらりおと一町いまのなき一といやくん  
のまよひくらトあひて

しとらり事ハ備らふらとて  
このふお一は一は一を  
いそさくらくまあぐくすのこ

くまか  
し

あん

うすくくす

あむらむらむら

やうや

いつそあむらむらうーとるも。あん  
よあらむいよ一もやほらや

4. けいはいあむら一つをちすとそれの  
たのしいりくおんまのぐちをうらうら  
るものうてらむあーのふあーさあ

ゆすまねん

めや

あつらうせー月日れおどもい

あいの海ら面よいところあんらう

のあつらうせー

所 あむあみたぢうトナでよトじとえー

おろくやまをゆて

六 くれ

まやまふたよト右のよを一つとあさ  
お花トやア祿

町 せんさんでおすえごうぞんをーて

殺しておらんたんー六 血まよつごうお花

まけはらうーくとありなをゆてのーき

アおのーやア何のきめよ死ぬのよ

町 せんよまらちとーとるうぐぬーよあ

さいごううれおひがあまらつて死ぬかくこ

アごうーとあハ来あんーと六 是めら





して来たのサそれと云も。おめへはまわれ  
 が。もつらつてあら孫(お)さ(ト)おつら  
えおへいさよ **武** マヤあんとかいあんす(ぬ)やア  
まをさこつて  
 らあいそつが清さん。この人。もうちがと  
 ろいぶがわつていすあらいく重(お)もあやう  
 いすうら。どぶぞうんよちあん。アアア  
アの  
 うちお体(ア)ちあん。ナやんよぬ。がうう  
ア

へいあん。このをゆめておつらん  
 して。つらトたをまよめて身の  
ちりをおあつていらぬ **六**まらうが  
う  
 ちとつておつらのう。お清のつちらア  
 おめへまちの。おまのやアあま孫のサ  
**武** どうくくむあまのつらて。おく人  
トをままらせあんす。おまのやアと  
アおのまの人のあまのえんのまのやのらのへ  
 ぬ。やアうらのおつてあん。ちやアま





あり  
 ふうらよあめをちうむがうかあんようい  
 ておいこくんあや<sup>本</sup>たなせであすく  
 まのちがうけい<sup>本</sup>き<sup>本</sup>そふ<sup>本</sup>ら  
 あれどもおらら<sup>本</sup>がむ<sup>本</sup>と<sup>本</sup>り<sup>本</sup>で<sup>本</sup>来<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>  
 じやアあらめし。言<sup>本</sup>ごの<sup>本</sup>時<sup>本</sup>ご<sup>本</sup>ろ<sup>本</sup>といふ  
 かつらと<sup>本</sup>た<sup>本</sup>な<sup>本</sup>し<sup>本</sup>て<sup>本</sup>や<sup>本</sup>い<sup>本</sup>が<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>る  
 うら<sup>本</sup>痛<sup>本</sup>で<sup>本</sup>ま<sup>本</sup>う<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>る<sup>本</sup>で<sup>本</sup>い<sup>本</sup>く<sup>本</sup>そ<sup>本</sup>れ<sup>本</sup>ま<sup>本</sup>や  
 アちり<sup>本</sup>り<sup>本</sup>と<sup>本</sup>い<sup>本</sup>る<sup>本</sup>ま<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>ん<sup>本</sup>ど<sup>本</sup>ま<sup>本</sup>け<sup>本</sup>が<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>つ<sup>本</sup>て<sup>本</sup>け

ころ<sup>本</sup>ハ<sup>本</sup>た<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>さん<sup>本</sup>と<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ん<sup>本</sup>ま<sup>本</sup>り<sup>本</sup>ん<sup>本</sup>安<sup>本</sup>く  
 し<sup>本</sup>せん<sup>本</sup>う<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>ど<sup>本</sup>ま<sup>本</sup>も<sup>本</sup>ま<sup>本</sup>よ<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>ん<sup>本</sup>を<sup>本</sup><sup>本</sup>  
 アや<sup>本</sup>ア<sup>本</sup>ま<sup>本</sup>の<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ん<sup>本</sup>の<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>ん<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>  
 ころ<sup>本</sup>う<sup>本</sup>じ<sup>本</sup>り<sup>本</sup>ま<sup>本</sup>ま<sup>本</sup>も<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>い<sup>本</sup>や<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>が<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>  
 また<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>う<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>や<sup>本</sup>ア<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>い<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>ん<sup>本</sup>  
 おも<sup>本</sup>し<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>く<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>ん<sup>本</sup>ま<sup>本</sup>  
 し<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>い<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>も<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ん<sup>本</sup>ま<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>い<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>ま<sup>本</sup>  
 て<sup>本</sup>い<sup>本</sup>よう<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>い<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>あ<sup>本</sup>ら<sup>本</sup>ち<sup>本</sup>や<sup>本</sup>ア

ぬしゆいぢうんあまかうくーヤリせんがは  
 あーヤリんせく。まうまうちつとぬー  
 あまお祓ぐいがかんが。かあつてかんを  
 んすく<sup>六</sup>そアヤアおめくが<sup>七</sup>おーそら  
 祓ぐいもうかみして中もいひのでもま  
 いがまアそアヤアあんぐ<sup>八</sup>ア<sup>九</sup>り川と  
 ちつちくおらんかんーな。あまこらつ  
 まーい<sup>十</sup>帯をささあんーな。けまをま

あうおらんあんー<sup>ト</sup>あう<sup>二</sup>あう<sup>三</sup>と  
 のまにあう<sup>四</sup>花<sup>五</sup>を<sup>六</sup>あう<sup>七</sup>と<sup>八</sup>あう<sup>九</sup>と<sup>十</sup>あう<sup>十一</sup>と  
 おんて<sup>十二</sup>あう<sup>十三</sup>あう<sup>十四</sup>あう<sup>十五</sup>あう<sup>十六</sup>あう<sup>十七</sup>あう<sup>十八</sup>あう<sup>十九</sup>あう<sup>二十</sup>あう<sup>二十一</sup>あう<sup>二十二</sup>あう<sup>二十三</sup>あう<sup>二十四</sup>あう<sup>二十五</sup>あう<sup>二十六</sup>あう<sup>二十七</sup>あう<sup>二十八</sup>あう<sup>二十九</sup>あう<sup>三十</sup>あう<sup>三十一</sup>あう<sup>三十二</sup>あう<sup>三十三</sup>あう<sup>三十四</sup>あう<sup>三十五</sup>あう<sup>三十六</sup>あう<sup>三十七</sup>あう<sup>三十八</sup>あう<sup>三十九</sup>あう<sup>四十</sup>あう<sup>四十一</sup>あう<sup>四十二</sup>あう<sup>四十三</sup>あう<sup>四十四</sup>あう<sup>四十五</sup>あう<sup>四十六</sup>あう<sup>四十七</sup>あう<sup>四十八</sup>あう<sup>四十九</sup>あう<sup>五十</sup>あう<sup>五十一</sup>あう<sup>五十二</sup>あう<sup>五十三</sup>あう<sup>五十四</sup>あう<sup>五十五</sup>あう<sup>五十六</sup>あう<sup>五十七</sup>あう<sup>五十八</sup>あう<sup>五十九</sup>あう<sup>六十</sup>あう<sup>六十一</sup>あう<sup>六十二</sup>あう<sup>六十三</sup>あう<sup>六十四</sup>あう<sup>六十五</sup>あう<sup>六十六</sup>あう<sup>六十七</sup>あう<sup>六十八</sup>あう<sup>六十九</sup>あう<sup>七十</sup>あう<sup>七十一</sup>あう<sup>七十二</sup>あう<sup>七十三</sup>あう<sup>七十四</sup>あう<sup>七十五</sup>あう<sup>七十六</sup>あう<sup>七十七</sup>あう<sup>七十八</sup>あう<sup>七十九</sup>あう<sup>八十</sup>あう<sup>八十一</sup>あう<sup>八十二</sup>あう<sup>八十三</sup>あう<sup>八十四</sup>あう<sup>八十五</sup>あう<sup>八十六</sup>あう<sup>八十七</sup>あう<sup>八十八</sup>あう<sup>八十九</sup>あう<sup>九十</sup>あう<sup>九十一</sup>あう<sup>九十二</sup>あう<sup>九十三</sup>あう<sup>九十四</sup>あう<sup>九十五</sup>あう<sup>九十六</sup>あう<sup>九十七</sup>あう<sup>九十八</sup>あう<sup>九十九</sup>あう<sup>百</sup>

又のちがそわどまどは思ひすれぬ  
 一いあやすいでらんあんなすのく  
 六をアアでめくらたぐのあやア極ぐ  
 りあ夜もあけそぐ。今よらんまら  
 其うごう。又ソがも其はよこよよ  
 六つごうかうあんなーてもあうーよ  
 するああんなさん言さんトウアアつちが  
 けように中あんなすうら。ゆらいせいむ

アア

けであんーておらんあんなせんあやア  
 なつせんせん。時をよまづれて今夜ハ  
 さじうをアアレサまアあうあめん  
 一いああんなーようをわらあいと  
 六つごう  
 六他も是うらさたをまアせんハめら  
 六つごう  
 べつとすど  
 中夜をのんでまうるあれ  
 ともたハ何の申もあ

新法